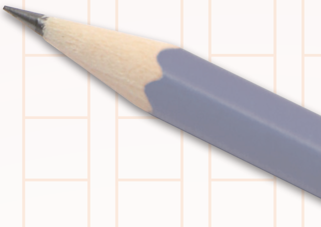
姫路文学館

第11回 藤原正彦
エッセイコンクール

生きることとは創（つく）ること



これは、姫路文学館長 藤原正彦の言葉です。
出会った人や書物、あるいは孤独や沈黙…
自分を見つめ考えたことを文章にしてみてください。

本賞は、知的なユーモアと明晰な論理性を備えた数々のエッセイで多くの愛読者を持つ藤原館長が「読書」とともに推奨する「書くこと」の大切さを伝えるため創設しました。

募集要項

応募資格 中学生以上

部　門 ◎中学生部門
◎高校生部門…専門学校生等、これに相当する方も含む
◎一 般 部 門…上記を除く方

テーマ 自　由（好きなテーマでお書きください。）

審査員 **藤原正彦**（数学者・作家・お茶の水女子大学名誉教授）

昭和18年旧満州生まれ。新田次郎・藤原てい夫妻の次男。東京大学理学部数学科卒業、同大学院修士課程修了。理学博士（東京大学）。コロラド大学助教授、お茶の水女子大学理学部教授を歴任。
昭和53年『若き数学者のアメリカ』で日本エッセイスト・クラブ賞、平成22年『名著講義』で文藝春秋読者賞、平成26年『孤愁』でロドリゲス通事賞を受賞。そのほか、『国家の品格』『本屋を守れ』など著書多数。平成26年4月、姫路文学館長に就任。近著に『藤原正彦の代表的日本人』。

賞 各部門とも、〈最優秀賞〉〈優秀賞〉〈佳作〉各1編
賞状、藤原正彦館長のサイン入り著書と副賞を贈呈します。

副　賞	最優秀賞	優秀賞	佳　作
中学生部門	図書カード 1万円分	図書カード 5千円分	図書カード 2千円分
高校生部門	図書カード 3万円分	図書カード 1万円分	図書カード 5千円分
一般部門	10万円	3万円	1万円

- **応募方法**　郵送に限ります。
（メール、ファクス等での応募は受け付けておりません。）
- **送付先**　〒670-0021　兵庫県姫路市山野井町84番地
姫路文学館「藤原正彦エッセイコンクール」係
- **発　表**　令和7年（2025年）12月下旬
入賞者に直接通知するほか、姫路文学館ホームページ、新聞等で発表します。
- **表彰式**　令和8年（2026年）1月18日㈰
姫路文学館 講堂（北館3階）
- **作品の掲載**　入賞作品は本賞作品集および姫路文学館ホームページに、また各部門の最優秀作は文化雑誌「BanCul（バンカル）」（姫路市文化国際交流財団発行）に掲載します。

締　切　令和7年（2025年）
9月18日㈭　必着

問合せ先　審査内容についてのお問合せには応じられませんのでご了承ください。
姫路文学館　TEL 079-293-8228　姫路文学館

表紙および原稿はゼムクリップで留めてください。

第11回 藤原正彦エッセイコンクール 表紙

①部 門

中学生・高校生・一般

②題 名

③氏 名（ふりがな）

④郵便番号・住所

〒

⑤電話番号

⑥生年月日 ※西暦でお願いします

年 月 日

⑦職業 もしくは 学校名・学年

締 切

令和7年（2025年）

9月18日㈭ 必着

送付先

〒670-0021
兵庫県姫路市山野井町84番地
姫路文学館
「藤原正彦エッセイコンクール」係

応募規定

⑴ 400字詰め原稿用紙縦書き5枚以内。
ワープロ・パソコン原稿の場合は縦書き20字×20行とし5枚以内。
いずれもA4サイズの用紙を使用してください。

⑵ 原稿には、A4サイズの表紙をつけてください。（本紙をご利用いただいても結構です。コピーも可。）
表紙には、①部門、②題名、③氏名（ふりがな）、④住所・郵便番号、⑤電話番号、⑥生年月日、⑦職業（学生の場合は学校名・学年）を記入してください。

⑶ 原稿は、1行目に題名を書き、2行目から本文を書き始めてください。（題名も含めて5枚以内）。

⑷ 表紙および原稿は、ホチキスではなくゼムクリップで留めてください。

⑸ 一人1編のみ応募可。

⑹ 作品は、日本語で書かれた自作で未発表のものに限ります。

⑺ いったん提出された作品の変更はできません。

⑻ 作品の到着確認のお問合せには対応できません。
郵便の追跡サービス等、各自でご確認ください。

⑼ 作品の返却はいたしません。

学校の先生へお願い 学校単位で応募される場合は、姫路文学館ホームページから「学校応募用紙」をダウンロードして記入し、一緒にお送りください。